

管理者コンソール > ユーザー管理 >

OneLoginと同期

OneLoginと同期

この記事は、OneLoginディレクトリからBitwarden組織へのユーザーとグループの同期を開始するためのDirectory Connectorの使用方法を説明します。

API資格情報を作成する

Directory Connectorは、あなたのディレクトリに接続するためにOneLoginが生成したAPI資格情報の知識が必要です。次の手順を完了して、Directory Connectorの使用に必要なAPI資格情報を作成および取得します：

1. あなたのOneLogin管理者ポータル (<https://yourdomain.onelogin.com/管理者>) から、ナビゲーションメニューから **開発者** → **API認証情報** を選択してください。
2. **新しい資格情報** ボタンを選択し、資格情報にBitwarden固有の名前を付けてください（例えば、**bitwarden-dc**）。
3. **ユーザー** を読むラジオボタンを選択して、ユーザーフィールド、役割、およびグループの読み取り権限を付与し、**保存** を選択します。
4. 生成されたクライアントIDとクライアントシークレットをコピーしてください。これらをいつでも表示に戻ることができます。

あなたのディレクトリに接続してください。

次の手順を完了して、Directory ConnectorをOneLoginディレクトリで使用するよう設定します：

1. ディレクトリコネクタデスクトップアプリを開いてください。
2. **設定** タブに移動してください。
3. **タイプ** のドロップダウンから、**OneLogin** を選択してください。
このセクションで利用可能なフィールドは、選択したタイプによって変わります。
4. OneLoginから取得したクライアントIDとクライアントシークレットを入力してください。
5. **リージョン** ドロップダウンから、あなたの地域を選択してください。

同期オプションを設定する

Tip

When you're finished configuring, navigate to the **More** tab and select the **Clear Sync Cache** button to prevent potential conflicts with prior sync operations. For more information, see [Clear Sync Cache](#).

次の手順を完了して、Directory Connectorを使用して同期する際に使用する設定を構成します：

1. ディレクトリコネクタデスクトップアプリケーションを開きます。
2. **設定** タブに移動してください。
3. **同期** セクションで、必要に応じて以下のオプションを設定します：

| オプション | 説明 |
|------------------------------------|--|
| 間隔 | 自動同期チェック間の時間（分単位）。 |
| 同期中に無効なユーザーを削除します | あなたのディレクトリで無効にされたユーザーをBitwarden組織から削除するためには、このボックスをチェックしてください。 |
| 現在の同期設定に基づいて既存の組織ユーザーを上書きします | このボックスをチェックすると、常にフル同期を実行し、同期されたユーザーセットにいない場合はBitwarden組織からユーザーを削除します。 OneLoginディレクトリに推奨されます。 |
| 2000人以上のユーザーまたはグループが同期することが予想されます。 | このボックスをチェックしてください、もし2000以上のユーザーまたはグループを同期する予定がある場合。このボックスをチェックしないと、Directory Connectorは同期を2000ユーザーまたはグループに制限します。 |

| オプション | 説明 |
|---|---|
| <p>ユーザーがメールアドレスを持っていない場合、ユーザー名の接頭辞と接尾辞の値を組み合わせてメールアドレスを作成します。</p> | <p>このボックスをチェックして、メールアドレスを持っていないユーザーのための有効なメールアドレスのオプションを作成します。</p> <p>ディレクトリコネクターは、実際のまたは形成されたメールアドレスを持たないユーザーをスキップします。</p> <p>形成されたメール = ユーザー名 + メール接尾辞</p> |
| メールアドレスの接尾辞 | メールアドレスを作成するために使用される文字列 (<code>@example.com</code>) は、形成されたメールアドレスの接尾辞を作成します。 |
| ユーザーを同期する | <p>このボックスをチェックして、ユーザーをあなたの組織と同期させてください。</p> <p>このボックスをチェックすると、ユーザーフィルターを指定することができます。</p> |
| ユーザーフィルター | 同期フィルターを指定してください。 |
| グループを同期する | <p>このボックスをチェックして、グループをあなたの組織と同期します。</p> <p>このボックスをチェックすると、グループフィルターを指定することができます。</p> <p>ご注意ください、Directory ConnectorはOneLoginの役割の値を使用してBitwardenグループを作成します。</p> |
| グループフィルター | 同期フィルターを指定してください。 |

同期フィルターを指定してください

ユーザーのメールアドレスまたはグループに基づいて同期から含めるか除外するために、カンマ区切りのリストを使用してください。

Note

Directory Connector will create Bitwarden groups based on OneLogin Roles, not OneLogin Groups.

ユーザーフィルター

メールアドレスに基づいて特定のユーザーを同期に含めるか除外するには：

Bash

```
include:joe@example.com,bill@example.com,tom@example.com
```

Bash

```
exclude:joe@example.com,bill@example.com,tom@example.com
```

グループフィルター

Note

Syncing nested groups is not supported by OneLogin.

OneLoginの役割に基づいてグループを同期から含めたり除外したりするには：

Bash

include:Role A,Role B

Bash

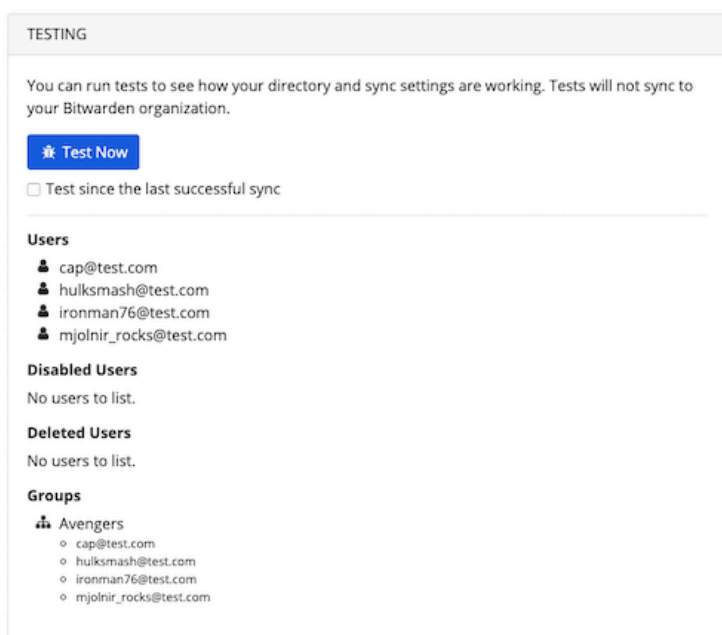
exclude:Role A,Role B

同期をテストする

Tip

同期をテストまたは実行する前に、Directory Connector が正しいクラウドサーバー（例：US または EU）、あるいは自己ホスト型サーバーに接続されていることを確認します。デスクトップアプリまたは CLI を使用して、方法を確認します。

Directory Connectorがあなたのディレクトリに成功裏に接続し、希望のユーザーとグループを返すかどうかをテストするには、**ダッシュボード**タブに移動し、**今すぐテスト**ボタンを選択します。成功した場合、ユーザーとグループは、指定された**同期オプション**と**フィルター**に従って、ディレクトリコネクタウィンドウに表示されます。



同期のテスト 結果

自動同期を開始します

一度**同期オプション**と**フィルター**が希望通りに設定されたら、同期を開始できます。次の手順を完了して、ディレクトリコネクタとの自動同期を開始します：

1. ディレクトリコネクタデスクトップアプリを開きます。
2. **ダッシュボード**タブに移動してください。
3. **同期**セクションで、**同期開始**ボタンを選択します。

あなたは代わりに**今すぐ同期**ボタンを選択して、一回限りの手動同期を実行することもできます。

Directory Connectorは、設定された**同期オプション**と**フィルター**に基づいて、あなたのディレクトリのポーリングを開始します。

アプリケーションを終了または閉じると、自動同期は停止します。ディレクトリコネクタをバックグラウンドで実行し続けるには、アプリケーションを最小化するか、システムトレイに隠してください。

Note

Teams Starter プランの場合、メンバーは10人に制限されます。10人以上のメンバーを同期しようとする、Directory Connector はエラーを表示して同期を停止します。